

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	21-019	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b> The relationship between alcohol intake and falls hospitalization: Results from the EPIC-Norfolk 飲酒と転倒による入院との関連 : EPIC-Norfolk からの結果		
<b>執筆者</b> Tan GJ, Tan MP, Luben RN, Wareham NJ, Khaw KT, Myint PK.		
<b>掲載誌</b> Geriatr Gerontol Int. 2021 Aug;21(8):657-663. doi: 10.1111/ggi.14219.		
キーワード	PMID	
飲酒、初老、老年医学、転倒、入院	34156750	
<b>要 旨</b>  <b>目的 :</b> 習慣的な飲酒と転倒による入院リスクとの関連を検討した。  <b>方法 :</b> EPIC-Norfolk は英国ノーフォークにおける地域住民を対象とした前向きコホート研究である。本研究では、EPIC-Norfolk の参加者のうち、40-79 歳の 25637 人を対象とした。食物摂取頻度調査により 1 週間の飲酒量を調査し、対象者を非飲酒 (0 unit/週)、少量飲酒 (0-7 units/週)、中等度飲酒 (7-28 units/週)、多量飲酒 (28 units/週以上) の 4 群に分類した。なお、アルコール 8g を 1unit とした。Cox 比例ハザードモデルを用い、非飲酒者に対する少量、中等度、多量飲酒者の転倒による入院のハザード比および 95%信頼区間 (CI)を算出した。  <b>結果 :</b> 追跡期間の中央値は 11.5 年 (299211 人年) であった。追跡 121-180 か月における累積の転倒による入院率 (95%CI)は、非飲酒者、少量飲酒者、中等度飲酒者、多量飲酒者でそれぞれ 11.08% (9.94-12.35%)、7.53% (7.02-8.08%)、5.91% (5.29-6.59%)、8.20% (6.35-10.56%)であった。中等度飲酒者では主要な共変量で調整後の転倒による入院リスクが低かった (ハザード比 0.88, 95%CI 0.79-0.99)。推奨される閾値である 28 units/週以上で転倒による入院リスクが高かった (ハザード比 1.40, 95%CI 1.14-1.73)。  <b>結論 :</b> 転倒による入院リスクは、中等度飲酒で低く、推奨量を超える飲酒で高かった。このことから、飲酒は推奨量の範囲内とすることが高齢者における転倒防止に重要である可能性が示唆された。		